

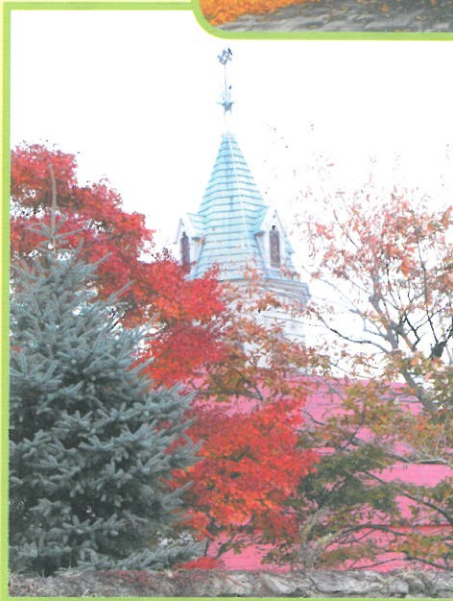
はこだてシルバーだより



小林 邦子会員



栄田 武志会員



菅原 正会員

写真同好会作品

「冬近し」



高橋 渉一会員



佐々木紀代彦会員

平成 25 年 12 月号



冬号

No.97

● “手” が足りない。そんな時はシルバー人材センターへ！

シルバー人材センターの親切・丁寧・確実な仕事振りは必ず皆様のお役に立ちます。

豊かな経験と能力を生かし、幅広いお仕事をいたします！

函館市若松町33番6号(函館市総合福祉センター 2階)

電話 (0138) 26-3555

FAX (0138) 23-7531

E-mail : hakosc@sjc.ne.jp

「第五回理事会」報告
十月三十一日 開催

★報告事項

- (1) 正会員及び賛助会員の入会について
 - (2) 事業運営状況報告について
 - (3) 正副理事長及び常務理事の自己職務執行状況報告について
 - (4) 函館市長への支援要望について
 - (5) 旅行会について
 - (6) シルバー人材センター事業普及啓発促進月間について
 - (7) 長期就業会員募集について
- ★協議事項
- (1) 平成二十六年函館市への補助金要望について
 - (2) 平成二十六年基本計画について
 - (3) 平成二十六年基準単価について

以上報告事項七件と協議事項三件を審議し、承認されました。

◎主な内容は次のとおりです。

- 九月末現在の正会員は千三十七名、賛助会員は十月一日現在、五十四団体となっております。
- 事業運営状況報告については傷害、賠償事故の合計が二十二件発生しました。これまでも安全

パトロールを実施してきましたが就業会員の意識改革、自覚が求められます。

- 上半期迄の事業実績については、公共事業の見直し等で昨年と比較し九十七・七%と依然厳しい状況になっていきます。
- 函館市長への要望についてはシルバーだより秋季号記載済
- 旅行会・事業普及啓発促進月間の内容については4P～6P記載
- 平成二十六年長期就業会員募集は七十二名で就業委員会において面接審議後一月の理事会で決定します。
- 平成二十六年函館市への補助金要望については千二百二十六万八千円（今年度より百万円増）を要望しましたが、国庫補助の見直しなど厳しい状況です。
- センターでは、平成三十年度を目標とする五ヶ年基本計画を作成しました。主要課題として会員の確保、事業の開拓拡大、運営体制の充実を目標にシルバー人材センター、会員及び役職員一体となって積極的に進めます。
- 平成二十六年度の基準単価については利用者の利便を考慮し、端数整理を含め若干の修正をすることとしました。

前理事長南谷正巳さん
ご逝去



平成十七年五月から八年間、当センターの理事長として、シルバー事業の発展のため、ご尽力をいただいた南谷正巳さんが、去る十一月四日ご逝去されました。

南谷さんは、理事長就任以来率先して、お客様への心配りと会員への温かい思いやりを持って、シルバー事業を推進され、「会員一

人ひとり」がセイルスマン」との格言を創作されました。

また、在任中には、創立三十周年記念事業の実施、社団法人から公益社団法人への移行、更には、企画提案方式事業など新規事業への取り組みなど当センターの歴史に大きな足跡を遺されました。

南谷さんは、理事長退任後、日々趣味のゴルフ三昧に明け暮れる生活を楽しみにしておられました。病魔に侵され、七十九歳を一期に旅立たれました。ここに、ご生前のご功績に深く感謝いたしますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人
杉崎福祉財団から助成金交付

例年、当センターなど函館市内において民生事業活動を目的とする団体の運営に対して支援するため助成金の交付を行っている公益財団法人杉崎福祉財団では、十月一日函館市総合福祉センターを会場に交付式が行われ、渡部理事長が出席しました。

同財団は、初代函館市社会福祉協議会々長を務めた故杉崎郡作氏が昭和四十四年七月に設立され、以来同財団の所有地の運用益を高年齢者の福祉増進、児童又は青少年

の健全育成等の事業推進に充て、地域発展に寄与されているものです。

今年度の助成団体は、昨年より五件多い三十四団体となっております。

当センターでは、杉崎福祉財団からの助成金への感謝と、今後とも交付の趣旨に沿って、シルバー事業に取り組み、些かなりとも地域貢献に役立つよう活動してまいります。



地区懇談会

市内四会場て百九十名参加

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の一環として毎年行われている地区懇談会が、十月十七日～十月二十五日、四会場で開催されました。

昨年まで五会場で開催していましたが、五・六地区の本町会館の駐車場が狭いという意見もあり、五地区を一・四地区と、六地区を十三～十五地区と合同で行いました。

各会場とも、会議の進行は地区長さんが行い、坪谷事務局長の挨拶に続き、各地区長、事務局担当職員の紹介があり、議事に入りました。内容は次のとおりです。



(1) 事業実施状況(四月～九月)について

林事業課長より、対前年度比増は七月のみで、これは参議院選挙関係だが、昨年十二月には衆議院

院選挙があったことから相対的にはプラス要因にはならないこと、剪定作業については七十代後半の会員が就業しており今年度体調不良から三名がリタイヤし、数名の会員で対応しているため受注制限せざるを得ない等の説明がありました。

(2) 事務局からのお知らせ
除雪の就業会員を募集したが不足し、発注者に対して昨年度と同様な対応が困難となってきたことから、引き続き就業会員を募集中であることを説明しました。今年度の事故について現在二十二件と昨年より三件増加していること、事務局へ電話する際の間違った電話が多く受信された方からの苦情がきていること等に対して注意をしました。



また、地域班を通して長期就業会員募集案内を配付することと、刃物研磨を例年どおり実施するの十二月に五枚のチラシ配付をお願いしました。

意見及び要望について

① 就業について(十三件)

・シルバーで作業する場合道具はセンターで用意するのかが原則だが、排雪、融雪作業に関してはセンター所有の車両を使用するため使用料を請求額に加算している。

↓ 事業高の減少に対して新しい事業に取り組んでいるのか。

↓ 新聞社から地域イベント記事作成の依頼があり、新たな事業として取り組んでいるほか長期間未就業の会員に対して相談コーナーを設けている。

・研修会ではどのような方法で講師を選んでいくのか。

↓ 長年その就業に携わり発注者から評価の高い方に依頼している。

・シルバーの就業に時間等の制約はあるのか。

応については、具体的にどうすべきかとの記述や指導がないのはおかしいのでは。

↓ 各担当者から作業内容を十分に説明し、現場での打合せについてもコンタクトを取り対応している。

・直接受注禁止とのことだが、↓ センターに連絡せずに就業して事故などトラブルに遭った場合補償を受けられないため、直接発注者から依頼があった場合は必ずセンターに連絡するよう指導をしている。

・安全標語応募者は真剣に考えて応募しているのだから、最優秀賞はシルバーだよりに掲載するなどして周知を図るべき。

↓ 掲載スペースにもよるが今後検討したい。

紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできませんが、今後の事業運営に生かしていくよう努めていきます。



↓ 月十日、週二十時間未満の業務で、臨時的、短期的かつ軽易な仕事で危険な業務は断っている。

・発注者への対



安全・適正就業委員会コーナー

安全巡回パトロール実施報告

今年度の安全巡回パトロールは、七月十七日・十九日の二日間、安全・適正就業委員が各班四名編成で実施し、機械除草（五ヶ所）、植木剪定（二ヶ所）の計七ヶ所を事前予告なしで点検しました。

更に十月十五日に渡部理事長と坪谷事務局長が機械除草の現場を巡回し、会員と懇談を持ちました。

植木剪定は、一般家庭の低木の剪定作業中で、枝や葉の散乱に配慮し、ブルーシートが敷かれ丁寧な作業であった。剪定作業では転落・転倒の事故が多いため、脚立の昇降に注意し、常に保安帽や安全帯を着用し、身の安全を確かめて欲しい。



機械除草は、全ての現場において班長の指示の下で、会員同士の連携が図られ、仕事が順調に進み仕上



げも丁寧であった。刈払機の防護カバーが飛散物の防止を図るため、自作の大型カバーに改良し工夫されていた。大半の現場において、刈払機と防護ネットがセットで作業していたが、道路と歩道の境目でナイロンコードを使用時に、小石等の飛散防止に対する配慮が徹底されていなかった。また、ナイロンコードが必要以上に長く、小石等が飛散する確率が非常に高いので、適切な長さで、調整して欲しい。自分だけでなく仲間の位置にも気配りし、常に安全な作業間隔の確保も必要である。



事故のほとんどが慣れと油断から起こるもの、慣れた仕事でも細心の注意を払い、安全就業に徹し

平成二十五年度安全標語最優秀賞
「今日も無事故で高まる信頼 明日につながる安全就業」 斎藤 道男 会員

函館の街の美化に貢献しよう!!

清掃奉仕活動実施
 10月19日(土) 222名参加



函館駅周辺
 (55名参加)

毎年恒例の秋の清掃奉仕活動を、函館市民のシルバー事業へのご理解・ご協力に感謝を込め、市内5ヶ所で実施いたしました。

安全就業推進大会と合同で実施予定だった7月の清掃奉仕活動は雨で中止となりましたが、今回は晴天のもと、安全に気をつけて気心の知れた仲間と笑顔でゴミを拾い、街の中も気持ちもすっきりしました。皆さんお疲れ様でした!



鍛神小学校周辺
 (44名参加)



市民会館周辺
 (59名参加)



五稜郭電停周辺
 (30名参加)



亀田中学校周辺
 (34名参加)



高年齢者雇用就業パネル展

毎年、十月の「普及啓発促進月間」に合わせて、「高年齢者雇用就業パネル展」が、十月十五日(火)から十八日(金)までの四日間、市役所一階市民ホールで開催され、市民との交流を深める場となりました。

この期間中に千二百六名(昨年は千二百十五名)の来場者が訪れ、個性を生かした作品に、身を寄せて熱心に鑑賞しながら満喫していました。

◆写真パネルでは、「函館市民とのかわわり」と「会員の就業」や「函館こども学園」・サン・リフレでの「文

化教養講座」の活動状況を紹介しました。◆作品として、絵画・書画・手工芸品・陶芸などに加えて、写真同好会が撮影した写真等、会員の技を凝縮した作品百五十点、「水彩画教室」、「文



どの作品も豊かで魅力あふれる逸品が並び、中には様々な古切手を使って巧みに仕上げた作品や、松ぼっくりなどを使ったかわいらしい人形、手編み物など数々の個性的な作品が印象的で、多くの来場者の目を楽しませてくれました。

また、来場者の中に多彩な作品に感動して?和裁のできる会員の紹介や入会手続等の相談・照会があるなど好評でした。



今回、道新、函新が取材に訪れ、記事が掲載されたこともあって、大勢の市民の方に足を運んでいただき、また、タイミングよく観光ツアーで来函中のタイ国の観光客も物珍しそうに眺めていました。今回のパネル展に出品していただいた会員・受講生の皆様、ご協力ありがとうございました。



今回のパネル展に出品していただいた会員・受講生の皆様、ご協力ありがとうございました。

街頭啓発活動 ~シルバー人材センターをPR~

10月19日(土)10時から役職員・会員が参加し、函館駅前・五稜郭・美原の3地区で「就業を通して地域社会で活躍します」の旗を掲げて街頭啓発活動を実施しました。

市民の皆さんへ、シルバー人材センターの存在を理解し、知っていただくために、当センターの案内・会員募集のパンフレットや11月から12月にかけて5日間実施する刃物研磨のチラシ、ポケットティッシュを配布するとともに「シルバー人材センター」の名称を一人ひとりに呼びかけながらPRに努めました。

今後とも、このような活動を通してセンターの周知を図るとともに就業拡大にもつなげていきたいと考えています。

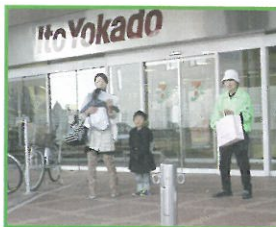
函館駅前地区



五稜郭地区



美原地区

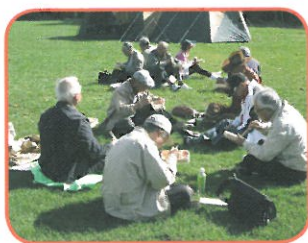


会員厚生部会コーナー

ニセコ温泉バスの旅

10月4日(金)
10月5日(土)

今回の旅行会は、久しぶりにバス二台、五十四名で若返りの湯で有名なニセコグランドホテルへ行ってきました。



今回初の試みとして、申込時に希望を取り、観光コースとパークゴルフコースに分かれて過

❖一日目❖

どう?盛り上がってる?等の会話が飛び交い楽しげです。ニセコ東啓園では、少し前までの雨



まず到着したのがダチョウ牧場です。ダチョウの見学かあ...と最初テンション低めだったにもかかわらず、実物を目にした時



六時三十分、加藤会員厚生部長の開会のあと、待ちに待った懇親



るの時間です。まず先に動いたのはパークゴルフコースのマイクロボス。百年の杜パークゴルフ場へ向かいます。ナイスショット!の声高らかにち切れんばかりの笑顔でプレーを楽しみます。一方観光チームは、



試み、コースに分か



が嘘のように澄み切った青空の下、長万部で積み込んだかに飯を頬張る人、朝早く起きて作ったお弁当を頬張る人...思いの昼食タイムです。ご飯を食べ終わったら、さあ、初の



沼では周囲三百メートルほどの散策路をぶくぶくと湧き上がる温泉と真っ白な湯けむりを楽しみながら散策してホテルへと向かいます。途中、ホテル近くの酒屋さんで二次会用の氷とお酒、おつまみを購入、一足先にホテルに到着し、各部屋でくつろぎながらパークゴルフチームの到着を待ちました。遅れること十分、パークゴルフチームも到着し、運動の疲れを温泉で癒し、懇親会へと備えました。

❖二日目❖

朝食を取った後、十時にホテルを出発し、ニセコ道の駅で新鮮な野菜やお土産を購入、荷物でいっぱいの方の会員さんがあちこちに。その後、長万部物産センターでのバイキング形式の昼食をとり、一路函館へと向かいました。

初めての試みでしたが、天候にも恵まれけがなく楽しい笑顔でいっぱい思い出がたくさんできました。

新年懇親会(案内)

平成二十六年「新年懇親会」を次の日程で開催します。詳細は、地区長・班長を通して案内いたしますので是非ご参加ください。

日時 平成26年1月22日(水)
会場 ホテル函館ロイヤル
会費 五,五〇〇円 (大森町16-9)

会員の集い開催!

十一月二十一日(木)、湯の浜ホテルにおいて九十九名の参加により「会員の集い」が開催されました。午前十一時三十分、開会の言葉に続き、渡部理事長の挨拶があり、今年喜寿を迎えられた、佐藤



喜悦さん、菅祥太郎さん、高橋菊三郎さん、田村和義さん、長嶋正一さん、西澤秀樹さん、庭田等さん、野尻勉さん、福田肇さん、以上九名の方へ

記念品の贈呈がありました。これからもベテランの喜寿パワー全開でご活躍されることを期待しています。

続いて今泉会員厚生部会副部長の「いただきます」の発声で懇親会に入りました。

余興は、原光男さんの「宮城長持唄」で幕開け。伸びのあ



司会：桑原主任

あった! 優勝だ!



とバトンタッチし、その後には持ち物検査ゲームが行われました。最近ではゲームも恒例となり、皆さん



あらかじめ持ち物を予想して用意をしているので出題する側も頭を悩ませています。今回は最終出題、「ペットボトル」をもつていたチームが優勝しました。その後、五名の方のカラオケを挟み、これも恒例となりました。

たラッキー賞の発表です。今回は御膳の下にラッキー賞と書いた用紙を入れておき、十五名の方が選ばれました。

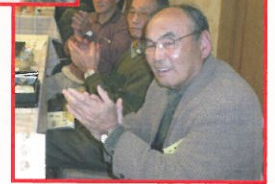


おいしい~!!

最後のカラオケタイムでは、事前申し込みしている方に七名の方が追加でカラオケを歌い大いに盛り上がりました。



余興のトリは高田豊春さんの民謡「北海盆唄」で、会場は踊りと手拍子で盛り上がり、加藤会員厚生部会長の挨拶で盛会



歌、上手だな~



企画提案方式事業コーナー

◆堆肥・腐葉土作り

堆肥作りは、水を撒きながら、二度の切り返し作業を終え、いよいよ冬支度です。

腐葉土作りは、製作拠点となる、ビニールハウスの整備が終わりこれからが本番です。

シルバーだよりは、進捗状況を随時お知らせしていきます。



冬休みものづくり体験

牛乳パックで車を作ろう& ペットボトルで風車を作ろう

日時 平成二十六年一月八日(水) 午前九時三十分から

紙筒で万華鏡を作ろう

日時 平成二十六年一月十日(金) 午後二時から

※いずれも市総合福祉センターで実施し、対象は市内在住の小中学生で定員は二十名(先着順)。

道南ブロック会議・職員研修会開催される



応状況、最低賃金や消費税の改正に伴い配分金、事務費の見直しへの取り組みなどについて、協議を行いました。

特に、予算要求中でありませんが国庫補助金の増額が見込まれることから、補助事業計画の立案、当該自治体の支援が条件となることへの対応などについて、熱心な討議が交わされました。

当センターでは、二十六年更新たに国庫補助事業に取り組むため、先般函館市へ補助金の増額をお願いしております。

渡島・胆振・日高管内十一のシルバー人材センターで構成する道南ブロック会議が、去る十一月七日室蘭市で開催、理事長、事務局長が出席しました。

まず、道シ連から二十六年度シルバー関連予算概算要求、シニアワークプログラム事業への参入、公益社団法人としての運営等について説明後、各センターからの検討課題として、北海道総務部法人局の公益法人への立入検査への対

また、道南ブロック職員研修会が、去る十一月二十一日登別市で開催、林事業課長が出席しました。会議では、業務に取り組む中の課題やセンターの運営にあたっての問題点について討議を行いました。特に、今回の研修会では、事業拡大への取り組み、配分金の設定、受注業務の円滑化などについて熱心に意見交換が行われ、研修終了後、各センターでの業務に直ちに参考となるものも多く、有意義な研修会となりました。

年末年始の休業期間変更と就業報告書提出について

当センターの年末年始休業期間は、今年度より十二月二十九日～一月三日までに変更になります。ただし、今年度は土日が入りますので次のとおりとなりますので、十二月の報告書締切日と合わせてお間違えのないようご確認願います。

仕事納め 十二月二十七日(金)
休日期間 十二月二十八日(土)～一月五日(日)
仕事始め 一月六日(月)
報告書締切日 一月六日(月)必着

◆配分金支払日◆

11月分 十二月二十日(金)
 12月分 一月二十日(月)
 1月分 二月二十日(木)
 2月分 三月二十日(木)

謹んでお悔やみ
 申し上げます。

和根崎耕作さん (六五歳)

15地区3班 9月12日

笹谷 秀男さん (六九歳)

3地区3班 10月7日

石川 勲さん (七五歳)

5地区4班 10月31日

あとがき

この年齢になると月日のたつのは本当に早く平成二十五年も残すところあとわずかとなりました。今年のシルバー人材センターは理事長の交代があり役員、会員一体となって頑張ろうとした矢先前理事長のご逝去に接し何となく重苦しい年でもありました。

シルバーの事業高も地域経済の停滞、公共事業の減により厳しい状況ではありますが、このような時こそ地域に根ざした信頼あるセンターとして会員と共に日々取り組んで行かねばなりません。我々の年金も二〇一三年十月から十五年四月までに二・五%削減されます。それに加えて来年四月より消費税が八%となり大変な年になりそうです。暗い話で申し訳ありませんので今年のシルバー川柳から入選作品を紹介します。

・「先寝るぞ」「安らかにね」と返す妻

・期限切れ犬にやらずにオレに出す

このようにならないようお互い気を付けましょう。皆様、よいお年をお迎えください。(相田)